

# 2024 年度臨床研究の承認状況

承認番号		課題名	研究責任者	共同研究者	研究の概要
ER2024-001	承認	歯科外来にてウェアラブル筋電計を用いた睡眠時ブラキシズム診断について	坂口 千代美	今後は岡山大学病院補綴歯科クラウン・ブリッジの担当者と協同研究する可能性あり	保険診療に導入された睡眠時ブラキシズムを測定できる検査機器を用いた外来での睡眠時ブラキシズム診断・マウスピースの効果について
ER2024-002	承認	なんでも相談窓口から見た糖尿病を持っている方の困難事例 3 症例	金谷 純子	吉田 知代	目的：2023 年度 1 年間のなんでも相談窓口を利用された相談者の中における糖尿病を持っている方のまとめ、困難事例について考え、今後の取り組みに生かす 概要：2023 年度 1 年間の相談者と糖尿病を持っている相談者を比較して（件数、年代別、相談内容、連携先等）、傾向を知り、困難事例の症例を報告する。
ER2024-003	承認	人工呼吸器挿管期間と在院日数との関連性について	畑 勇輝	角南 和治 桃谷 雅彦 草地 海翔	人工呼吸器による換気は重篤な呼吸不全の際に必要な医療行為である。しかし人工呼吸器は気管挿管を必要とし入院期間が長期化しやすい傾向がある。今回当院 HCU にて人工呼吸器を使用した患者の気管挿管期間と在院日数との関連性を明らかにする事で長期化した要因や多職種連携のあり方を見直し、再構築することを目的とする。
ER2024-004	欠番				

ER2024-005	承認	若年者と比較した高齢者の脚伸展筋出力における年齢による変化	草地 海翔	近藤 哲 岡村 真那登  河村 顕治 <small>(吉備国際大学 保健科学研究科 吉備国際大学学長)</small>	<p>先行研究では、CKCトレーニングベルトと張力計を使用し、膝に痛みのある方や高齢者でも安全に脚伸展筋力を評価する方法が確立している。この方法を用いれば、病院内でも簡便に素早く脚伸展筋出力の評価を行うことが出来る。しかし、先行研究の主な評価対象は若年者であり、高齢者が測定値と比較できる基準値が確立されていないのが現状である。そこで、本研究では年齢が進むことで下肢筋出力にどのような変化があるのかを調査し、CKCトレーニングベルトと張力計を用いた方法による高齢者の脚伸展筋出力の基準値を作成することを目的とする。また、測定データの内的信頼性の評価を行い、CKCトレーニングベルト使用における信頼性の評価と、評価肢位や手技などの具体的な改善点を検討する。そして、安全かつ効率的なリハビリテーションプログラム立案、評価方法としての実用性を検討する。</p>
ER2024-006	承認	看護師によるエコー活用に関するアンケート調査	山本 政興	松下 浩之 坂下 臣吾 一瀬 直日	<p>看護師によるエコー活用状況を把握し、今後の院内でのエコー活用と普及を目的とするため。</p>